

平成 31 年度事業計画書

(平成 31 年 2 月 1 日から令和 2 年 1 月 31 日まで)

①会員の研究発表会，学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・第 119 回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行う。

日時 平成 31 年 4 月 18 日～20 日

場所 大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪（大阪市）

参加予定者数 15,000 名 演題予定数 2,800 題

テーマ 「メスの絆で科学を拓く：A Scrum of Surgeons Takes the Field for Science」

- ・学術集会の在り方を検討する。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を実施する。

②機関誌，論文図書等の刊行（定款第 4 条第 2 号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行する（通常号は電子ジャーナルとして発行し，希望により配本する）。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 31 年 3 月 1 日	120	2	7,900
平成 31 年 3 月 10 日	120	臨時増刊	39,000
令和元年 5 月 1 日	120	3	7,900
令和元年 7 月 1 日	120	4	7,900
令和元年 9 月 1 日	120	5	7,900
令和元年 11 月 1 日	120	6	7,900
令和 2 年 1 月 1 日	121	1	7,900

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成 31 年 2 月 1 日	49	2	40,000
平成 31 年 3 月 1 日	49	3	40,000
平成 31 年 4 月 1 日	49	4	40,000
令和元年 5 月 1 日	49	5	40,000
令和元年 6 月 1 日	49	6	40,000
令和元年 7 月 1 日	49	7	40,000
令和元年 8 月 1 日	49	8	40,000
令和元年 9 月 1 日	49	9	40,000
令和元年 10 月 1 日	49	10	40,000
令和元年 11 月 1 日	49	11	40,000
令和元年 12 月 1 日	49	12	40,000
令和 2 年 1 月 1 日	50	1	40,000

- ・ Case Report 誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行する。

発行年月日	巻
平成 31 年 2 月 1 日	5
平成 31 年 3 月 1 日	5
平成 31 年 4 月 1 日	5
令和 元年 5 月 1 日	5
令和 元年 6 月 1 日	5
令和 元年 7 月 1 日	5
令和 元年 8 月 1 日	5
令和 元年 9 月 1 日	5
令和 元年 10 月 1 日	5
令和 元年 11 月 1 日	5
令和 元年 12 月 1 日	5
令和 2 年 1 月 1 日	6

- ・ 外科専門医予備試験の過去問題集を書籍化し、発刊する。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第 4 条第 3 号）

- ・ German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS) と学術交流を行い、若手外科医の交換発表などを行う。
- ・ Royal College of Surgeons England (RCS) の International Surgical Training Programme (ISTP) に参加する。
- ・ インド、およびアフリカ諸国との交流制度の仕組みを検討する。
- ・ 日本医学会、日本医学会連合、日本医療機能評価機構、日本女性外科医会、「2020 年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急災害医療体制を検討する学術連合体」の活動に積極的に参画する。
- ・ 外科系 18 学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討する。

④外科学に関する研究及び調査（定款第 4 条第 4 号）

- ・ 標準手術ビデオを 5 本作成して、ビデオライブラリーに収載する。
藤原 俊義（岡山大学）
奥村明之進（国立病院機構刀根山病院）
碓氷 章彦（名古屋大学）
越永 従道（日本大学）
高山 忠利（日本大学）
- ・ 「外科研究の利益相反に関する指針」を改訂し、該当者から利益相反自己申告書を回収する。
- ・ AI を活用した取り組みについて検討する。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第 4 条第 5 号）

- ・ 外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指

定施設と関連施設を指定する。

- ・日本専門医機構と協働して、わが国の新しい専門医制度の運用のために、「外科領域専門研修プログラム」を審査し、専攻医の研修登録を行うと共に、専攻医の研修状況を管理する。
- ・日本専門医機構と協働して、専門医共通講習および外科領域講習を開催すると共に、関連学会が開催する専門医共通講習および外科領域講習について審査を行い、E-learningを開始する。
- ・外傷講習会を開催し、また、日本外傷診療研究機構、日本 Acute Care Surgery 学会、日本腹部救急医学会、日本外傷学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化する。
- ・厚生労働省からの補助金を得て、「外傷外科医養成研修事業」として、テロ災害などの傷病者の診療に関わる外科医の資質と技能の向上を図る。
- ・「日本における外科研修の現状に関する全国アンケート調査」の分析結果を論文化して公表する。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・第22回臨床研究セミナーを下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。
日時 平成31年4月20日
場所 大阪国際会議場（大阪市）参加予定者数 500名
- ・第23回臨床研究セミナーを日本臨床外科学会と共催で下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。
日時 令和元年11月中
場所 高知市内 参加予定者数 500名
- ・第26回研究奨励賞（Surgery Today Research Award）を表彰する（5名）。
- ・第2回 Surgical Case Reports 優秀論文賞（Best Surgical Case Reports Award）を表彰する（11名）。
- ・第119回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な10演題（予定）をビデオライブラリーに掲載して、制作補助費を支給する。
- ・「日本外科学会臨床研究助成」（JSS Clinical Investigation Project Award）の補助金を支給する（1名）。
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）の補助金を支給する（5名）。
- ・National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨る NCD データを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務める。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・第95回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。
日時 平成31年4月20日
場所 大阪国際会議場（大阪市）参加予定者数 1,000名
テーマ 「魅力的な外科医師育成プログラムを目指して！」
- ・第96回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。
日時 令和元年11月中
場所 高知市内 参加予定者数 1,000名

テーマ 「知っておくべきサブスペシャルティ領域別トレーニングプログラム」

- ・第27回生涯教育セミナーを下記のとおり行う。

テーマ 「各分野のガイドラインを紐解く」

(北海道地区)

日時 令和2年1月11日

場所 北海道大学医学部フラテホール（札幌市） 参加予定者数 100名

(東北地区)

日時 令和元年9月14日

場所 青森県内 参加予定者数 100名

(関東地区)

日時 令和元年9月21日

場所 ヤクルトホール（東京都港区） 参加予定者数 100名

(中部地区)

日時 平成31年4月7日

場所 愛知医科大学（愛知県長久手市） 参加予定者数 100名

(近畿地区)

日時 令和元年9月28日

場所 大阪国際交流センター（大阪市） 参加予定者数 100名

(中国四国地区)

日時 令和元年9月20日

場所 ANA クラウンプラザホテル宇部（山口県宇部市） 参加予定者数 100名

(九州地区)

日時 令和元年5月18日

場所 鹿児島県市町村自治会館（鹿児島市） 参加予定者数 100名

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・National Clinical Database（NCD）に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力する。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン（Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine）」に基づく Cadaver Surgical Training（CST）の普及を図る。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第4条第9号）

- ・広報活動として、第45回市民講座を下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。

日時 令和元年5月5日

場所 立命館いばらきフューチャープラザ グランドホール（大阪府茨木市）

テーマ 最前線のがん治療を阪大消化器外科がわかりやすく解説

⑩医療政策に関する建議（定款第4条第10号）

- ・外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力する。

- ・「医療事故調査・支援センター」（日本医療安全調査機構）の支援団体として、死因の調査分析事業に協力する。
- ・「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力する。
- ・「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し、日本麻酔科学会と定期的に懇談すると共に、外科医の労働環境の改善に向けたタスクシフトのアンケート調査を National Clinical Database（NCD）と協働で実施し、解析を行う。
- ・日本女性外科医会と協働で、医師の継続就労と支援についてのアンケート調査などを行う。
- ・外科医の適正数について検討し、外科医へのインセンティブに関するアンケート調査を行い、外科医へのインセンティブの付与などを関係官庁に要望する。
- ・外科医の無過失補償制度について検討する。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第11号）

- ・代議員の選任を行う。
- ・第120回定期学術集会での記念事業の開催について検討を行う。
- ・財務の健全化に向けた検討を行う。
- ・事務所の移転に向けた検討を行う。